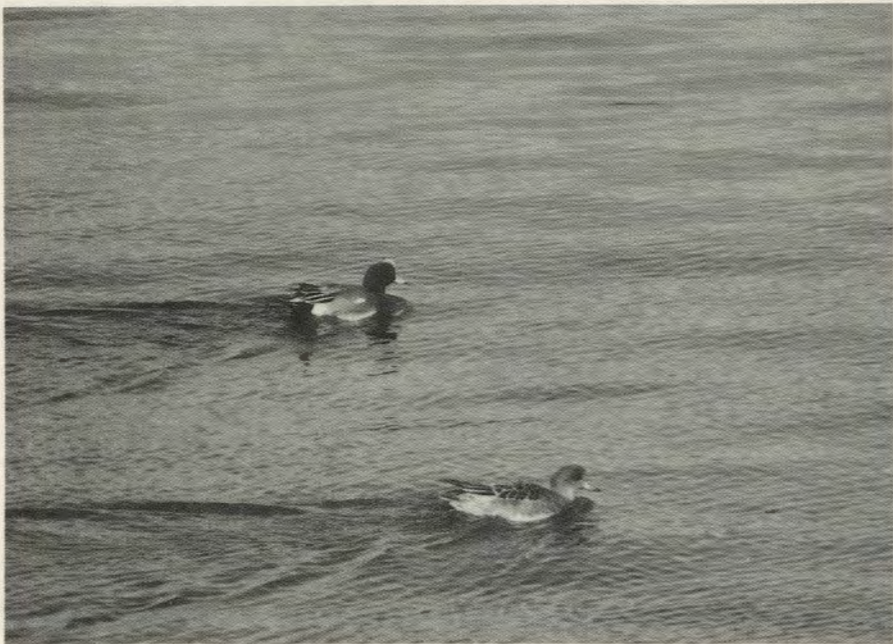


光市医師会報

昭和59年2月発行

No. 137



ヒドリガモ

伊藤慶二先生

光 市 医 師 会

医師会月間行事

◎定例理事会

1月10日(火) 7:30PM

光市医師会館

○報告並びに協議事項

1. 山福株式会社の株引き受けの件

1株、500円で6,000株の内

各医師会 10万円づつ負担

1月10日に払い込み済み

予備費より出すこととする。

2. 安達事務職員辞任の件

事情により承認す

勤続5年の為、慰労金として5万円と

する。

後任の問題について

当分の間空席として、事務処理を整理して浜本氏に依頼する。今後事務の集約化の必要あり。

3. 休日診療契約書の件

休日診療業務に関する覚書、在宅当番医制の委託契約について。

委託契約書案の検討

締結するにあたっての留意事項

第8条 医療事故の保障についての条項の文章、医師の責任追及の程度

経過を見ることとして決定

4. 私立幼稚園 保育園の手当について

私立保育園の園医の氏名、報酬等の調査と、交渉の方法手段

5. 保険給付の証明書や意見書の交付については、無償交付しなければいけない。

6. 会計報告、(58年4月~12月) 各項目の検討

定期預金の利息について

竹中副会長の御盡力により、医師会は利益団体ではないので、5年さかのぼって払い戻し 39万6千余円

7. 臨時総会開催の件

会長 副会長 理事 監事 議長 副議長 代議員 予備代議員の選挙

1月24日(火)とする

6時30分より松原屋にて

8. 図書購入の件

◎月例会・臨時総会・新年互礼会

1月24日 6:30PM

浅江 松原屋

○報告事項

1. 郡市保険担当理事協議会報告(1月19日 山口県医師会館)

(1) 保険委員会の報告

カルテ記載の不備、注射内服の併用と頻回注射や内服の大量使用、抗生剤の使用不適、検査結果と治療内容の相違、甲状腺機能検査、糖尿病の検査を全例に施行、慢性疾患指導科の算定、病名の整理、時間外の取扱い、無診投薬、検査の過剰又は極端に少い、多数例の外來注射。

(2) 個別指導の報告

県民生部のリストアップの条件は次の如し、

新規開業医療機関、保険者よりの依頼、高点数、極端に差のあるもの返戻・査定・不備の多い機関、傾向的診療、本人と家族の点数差の大きいもの、傷病手当金請求書の内容に疑義、前年度の指導による改善の有無、患者側より県保険課へ医療費を通知、検査項目セット検査回数の多いもの、入院患者で湿布皮フ科処置の多いもの等。

(3) 監査の事例など

続いて 田尻議長席に付いて臨時総会の開会を宣言 立会人に広田、藤原、高橋先生を指名 先ず 議長の選挙を行う。結果は河村俊男先生を議長に、副議長の広田通男先生と決定。議長を河村先生に交代して会長副会長以下選挙を行い次のように決定した。

会 長 竹中昭二先生
副会長 福本寿男先生
理 事 中村国雄先生
" 中村琢美先生
" 高橋建次先生
" 板垣省三先生
" 富惠 哲先生
" 近藤龍一先生
" 藤原邦彦先生
監 事 渡辺貞雄先生

監 事 田村勝司先生

次期会長より指名により次の方に委嘱された。

裁定委員 田尻常太郎先生

高島 潔先生

本庶正一先生

大野宗二先生

松村晴正先生

続いて、竹中次期会長より顧問に大野宗二先生を依頼され、選挙と臨時総会を終した。

そののち別室に移動して、遅くなった新年互礼会を行った。



ヒドリガモの編隊

“ 甘え ”

田尻 常太郎

もう二年以上も殆んど隔日の様に往診している九十才を超した老婆が同じ町内に居る。シャープな頭の持ち主だったが、半年程前から少しボケが目立つ様になった。硝

子障子を開けて部屋に入ると、持っている注射器を見ただけで、痛い痛いと言っては娘の名前を呼ぶ。一月十九日の朝、珍らしくも数厘の積雪があり一面の銀世界、外来が殆んど無いので十時前往診した。娘さんが歯痛のため歯医者さんに行ったと言って老婆が一人寝て居て、家政婦も買物にでも出かけたのであろう。電気ストーブもスイッチを切って差し込みまで抜いてあり、ひっそりとしていた。注射にかかると、自分でフトンをめくり袖をたくし上げ応需体勢は万全である。いつもだと、折角入れた針が抜ける程腕をこね廻すのに、今日はビクともしない。お婆ちゃん今日はお利口だったねと言ったら、有難うございましたと誠に礼儀正しい。外は雪が一面に積って綺麗だよと言ったら、コックリ頷いていた。

あとがき

新年度の執行部は若がえって立派な陣容です。医師会としては、大事な転換の時期です。思い切って活発な事業を展開していただけますよう、大いに期待しております。

表紙のヒドリガモは、島田川河口においてカモのなかまでは一番多く見られたもので、今でも100羽、多い時には300羽以上います。頭頂部は白くて、頭から頸にかけては赤紫に茶色がかった非常に美しい色をしていまして、中には目の後に緑色のもいます。大変綺麗で特長ある色をしてい

ますのですぐ判ります。雌は表紙の写真の手前のほうでして、他のカモよりも褐色が強くて、おなかは白くなっています。これから渡り鳥のシーズンでいろいろな鳥が見られ楽しい時期になります。

(伊藤)



発行所	光市医師会 TEL 0833 72-2234
発行者	大野宗二
編集者	会報編集委員会
印刷所	光市御崎町 中村印刷株式会社